



2025年2月期 決算短信〔日本基準〕（非連結）

2025年4月14日

上場会社名 株式会社 銚子丸 上場取引所 東
コード番号 3075 URL <https://www.choushimaru.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 石田 満
問合せ先責任者 (役職名) 取締役副社長 (氏名) 石井 憲 TEL 043-350-1266
定時株主総会開催予定日 2025年5月29日 配当支払開始予定日 2025年5月30日
有価証券報告書提出予定日 2025年5月30日
決算補足説明資料作成の有無: 無
決算説明会開催の有無: 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2025年2月期の業績 (2024年5月16日～2025年2月28日)

(1) 経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年2月期	17,388	—	1,052	—	1,070	—	569	—
2024年5月期	21,360	10.6	1,709	155.3	1,735	118.5	1,073	92.3

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2025年2月期	41.90	41.75	6.7	9.1	6.1
2024年5月期	78.33	78.04	12.2	14.3	8.0

(参考) 持分法投資損益 2025年2月期 △21百万円 2024年5月期 ー百万円

(注) 当社は、2024年8月8日に開催された第47回定時株主総会において「定款一部変更の件」が決議されたことを受け、当事業年度（2025年2月期）より決算期（事業年度の末日）を5月15日から2月末日に変更しております。これに伴い、決算期変更の経過期間となる2025年2月期は、2024年5月16日から2025年2月28日までの9か月13日の変則決算となるため、対前期増減率については記載しておりません。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2025年2月期	10,786	7,857	72.6	627.01
2024年5月期	12,842	9,309	72.3	676.31

(参考) 自己資本 2025年2月期 7,829百万円 2024年5月期 9,281百万円

(3) キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2025年2月期	616	△1,031	△1,759	4,003
2024年5月期	2,375	△1,839	△130	6,178

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向	純資産 配当率
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2024年5月期	—	0.00	—	12.00	12.00	164	15.3	1.9
2025年2月期	—	0.00	—	12.00	12.00	149	28.6	1.8
2026年2月期 (予想)	—	0.00	—	12.00	12.00		16.4	

3. 2026年2月期の業績予想（2025年3月1日～2026年2月28日）

（％表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
中間期（累計）	12,254	—	800	—	808	—	504	—	40.38
通期	24,263	—	1,445	—	1,461	—	911	—	73.03

（注）2025年2月期は決算期変更により変則的な決算となっております。このため、対前期増減率及び対前年中間期増減率については記載しておりません。

※ 注記事項

（1）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 無
- ② ①以外の会計方針の変更： 無
- ③ 会計上の見積りの変更： 無
- ④ 修正再表示： 無

（2）発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2025年2月期	14,518,000株	2024年5月期	14,518,000株
② 期末自己株式数	2025年2月期	2,031,463株	2024年5月期	794,413株
③ 期中平均株式数	2025年2月期	13,601,254株	2024年5月期	13,704,926株

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- 1. 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、本資料の発表日において当社が入手可能な情報および合理的であると判断する一定の前提に基づき策定したものであり、実際の業績等は様々な要因により予想数値と大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、決算短信（添付資料）P. 3「1. 経営成績等の概況（4）今後の見通し」をご覧ください。
- 2. 当社は2025年5月9日に機関投資家、証券アナリスト向けの決算説明会をオンラインにて開催する予定です。この説明会で配布する決算説明会資料については、開催後速やかに当社ウェブサイトに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	3
3. 財務諸表及び主な注記	4
(1) 貸借対照表	4
(2) 損益計算書	6
(3) 株主資本等変動計算書	7
(4) キャッシュ・フロー計算書	9
(5) 財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(持分法損益等)	10
(セグメント情報等)	10
(1株当たり情報)	12
(重要な後発事象)	12

1. 経営成績等の概況

当社は、当事業年度より決算日を5月15日から2月末日に変更しております。これに伴い、決算期変更の経過期間となる当事業年度は、2024年5月16日から2025年2月28日までの9か月13日間の変則決算となるため、前事業年度との比較については記載しておりません。

(1) 当期の経営成績の概況

当事業年度における我が国の経済は、雇用・所得環境の改善やインバウンド需要の高まりにより、景気は緩やかな回復基調で推移しました。一方で、米国や中国の経済停滞懸念、国際情勢不安や地政学的リスクの高まりなど依然として先行きの不透明な状況が続いております。

外食業界におきましては、個人消費の回復とともに価格改定の動きが活発化し、業界全体は堅調に推移しました。一方で、原材料やエネルギー価格の高騰、労働力不足や人件費の上昇、物価高騰による消費者の節約志向の高まりなど、引き続き厳しい経営環境が続いております。

このような状況の中、当社は、「お客さまに真心を提供し、感謝と喜びをいただく」ことを理念に、中期的経営課題に対する重点施策に取り組んでまいりました。

(課題① 収益構造・運営オペレーションの改革)

お客さまに快適な環境をご提供するとともに、オペレーションの効率化を目的として6店舗の大規模改装を実施しました(2024年6月 桜木店、同年7月 宇喜田店・板橋東新町店、同年10月 経堂店、同年12月 南柏店、2025年2月 保木間店)。また、新業態への取組として、完全予約制の本格江戸前高級寿司をコンセプトとした「鮎元」(2024年6月 千葉県市川市)、エキナカ出店の立ち食い鮎業態「Standing鮎Bar Yasukeエキュート赤羽みなみ店」(2024年7月 東京都北区)、フードコート内出店の「アリオ橋本店」(2025年1月 神奈川県相模原市)の3店舗を出店しました。これにより、当事業年度末の店舗数は91店舗となりました。

(課題② DX戦略)

銚子丸公式の「縁アプリ」へ、おすすめメニュー表示、お気に入り店舗の混雑確認と順番待ち予約機能などの機能を追加することで、お客さまの利便性向上と新規顧客の開拓を図るとともに、会員データの分析から、よりお客さまに喜ばれる商品やサービスの開発に繋げてまいりました。また、社内各種システムとデータを有機的に結合することで、運営オペレーションを効率化させるための統合基盤開発を計画に沿ってすすめております。

(課題③ 人財戦略)

新規採用・中途採用の強化、教育プログラムのブラッシュアップ、階層別研修の充実、女性活躍推進のための環境整備など人財強化施策をすすめてまいりました。また、店舗休業日を設けることで従業員の休日を増やすとともに、お客さまへより良いサービスを提供できる体制づくりを行いました。

(課題④ 商品・販売戦略)

毎月のキャンペーンの充実、創業祭販促の拡充、「縁アプリ」を活用した情報発信、地域別イベントや生本まぐろ解体ショーの全店同時開催などにより来店動機を高めるとともに、銚子丸ならではの商材・商品を追求し、お客さまの満足度向上へ繋げてまいりました。

これらの結果、当事業年度の売上高は173億88百万円、営業利益は10億52百万円、経常利益は10億70百万円、当期純利益は5億69百万円となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当事業年度末における資産は20億56百万円減少し、107億86百万円となりました。主な内訳は次のとおりであります。

流動資産は23億60百万円減少し、57億14百万円となりました。これは主に、現金及び預金の減少21億75百万円、売掛金の減少2億95百万円によるものであります。

固定資産は3億4百万円増加し、50億71百万円となりました。これは主に、建物(純額)の増加1億19百万円、ソフトウェアの増加2億84百万円によるものであります。

(負債)

当事業年度末における負債は6億4百万円減少し、29億28百万円となりました。主な内訳は次のとおりであります。

流動負債は4億81百万円減少し、25億51百万円となりました。これは主に、未払法人税等の減少4億54百万円、未払金の減少2億66百万円、短期借入金の純増2億82百万円によるものであります。

固定負債は1億23百万円減少し、3億77百万円となりました。これは主に、長期未払金の減少1億53百万円によるものであります。

(純資産)

当事業年度末における純資産は14億51百万円減少し、78億57百万円となりました。主な内訳は、自己株式の取得

18億92百万円によるものであります。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当事業年度末における現金及び現金同等物の残高は、40億3百万円となりました。当事業年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりです。

（営業活動におけるキャッシュ・フロー）

営業活動によるキャッシュ・フローは、6億16百万円の収入となりました。これは、法人税等の支払額が7億25百万円あったものの、税引前当期純利益が8億62百万円、減価償却費が4億35百万円及び売上債権の減少額が2億95百万円となったこと等によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動によるキャッシュ・フローは、10億31百万円の支出となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出6億87百万円及び無形固定資産の取得による支出3億29百万円によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動によるキャッシュ・フローは、17億59百万円の支出となりました。これは自己株式の取得による支出18億92百万円によるものであります。

（参考）

	2021年5月期	2022年5月期	2023年5月期	2024年5月期	2025年2月期
自己資本比率（％）	54.3	71.7	73.2	72.3	72.6
時価ベースの自己資本比率（％）	116.0	138.5	143.0	202.6	190.3
キャッシュ・フロー対有利子負債比率（年）	2.9	0.1	0.4	0.1	0.8
インタレスト・カバレッジ・レシオ（倍）	248.9	1,324.0	444.4	5,614.7	327.8

自己資本比率：自己資本／総資産

時価ベースの自己資本比率：株式時価総額／総資産

キャッシュ・フロー対有利子負債比率：有利子負債／キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ：キャッシュ・フロー／利払い

（注1）株式時価総額は自己株式を除く発行済株式数をベースに計算しております。

（注2）キャッシュ・フローは、営業キャッシュ・フローを利用しております。

（注3）有利子負債は貸借対照表に計上されている負債のうち利子を支払っている全ての負債を対象としております。

(4) 今後の見通し

外食業界におきましては、原材料やエネルギー価格の高騰、労働力不足や人件費の上昇、物価高騰による消費者の節約志向の高まりなど、引き続き先行き不透明な状況が続くことが予想されます。

このような状況の中、当社は、「お客さまに真心を提供し、感謝と喜びをいただく」ことを理念に、「DX推進」と「人財」への傾斜的な投資によりビジネスモデルの一層の高度化を図ることで、更なる投資余力を生み出し、これを再投資することで売上増加と利益の拡大を循環させる「サステナブル（持続可能）企業」の確立を目指してまいります。

2026年2月期の通期業績予想につきましては、売上高242億63百万円、営業利益14億45百万円、経常利益14億61百万円、当期純利益9億11百万円を計画しております。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社は、日本基準を採用しております。IFRS（国際財務報告基準）適用に関しましては、今後の動向を注視しつつ検討していく方針であります。

3. 財務諸表及び主な注記

(1) 貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2024年5月15日)	当事業年度 (2025年2月28日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,585,878	4,410,638
売掛金	973,790	677,964
原材料及び貯蔵品	265,700	381,729
前払費用	86,944	158,925
その他	163,266	85,354
流動資産合計	8,075,579	5,714,612
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	1,754,621	1,873,726
構築物（純額）	36,956	36,625
車両運搬具（純額）	8,322	3,374
工具、器具及び備品（純額）	745,829	721,179
土地	71,907	71,907
リース資産（純額）	—	13,114
建設仮勘定	951	3,002
有形固定資産合計	2,618,588	2,722,929
無形固定資産		
ソフトウェア	236,928	521,813
ソフトウェア仮勘定	112,936	64,130
その他	4,231	11,825
無形固定資産合計	354,096	597,768
投資その他の資産		
投資有価証券	20,000	20,000
出資金	140	140
関係会社株式	306,702	306,702
長期前払費用	7,714	5,005
繰延税金資産	447,684	405,123
敷金及び保証金	845,503	861,835
その他	166,820	152,183
投資その他の資産合計	1,794,565	1,750,989
固定資産合計	4,767,250	5,071,688
資産合計	12,842,830	10,786,301

(単位：千円)

	前事業年度 (2024年5月15日)	当事業年度 (2025年2月28日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	658,450	613,656
短期借入金	198,000	480,000
リース債務	—	2,684
未払金	1,422,354	1,155,989
未払法人税等	454,232	—
預り金	131,160	129,288
契約負債	29,085	50,218
前受収益	17,190	12,571
賞与引当金	89,000	60,900
株主優待引当金	24,457	35,472
ポイント引当金	8,283	10,409
流動負債合計	3,032,214	2,551,189
固定負債		
長期未払金	153,000	—
リース債務	—	11,908
資産除去債務	339,152	356,402
その他	9,000	9,000
固定負債合計	501,152	377,310
負債合計	3,533,366	2,928,500
純資産の部		
株主資本		
資本金	100,000	100,000
資本剰余金		
資本準備金	236,829	236,829
その他資本剰余金	241,418	254,124
資本剰余金合計	478,248	490,954
利益剰余金		
利益準備金	150	150
その他利益剰余金		
別途積立金	150	150
繰越利益剰余金	9,378,848	9,784,071
利益剰余金合計	9,379,148	9,784,371
自己株式	△676,010	△2,546,103
株主資本合計	9,281,386	7,829,222
新株予約権	28,077	28,578
純資産合計	9,309,463	7,857,800
負債純資産合計	12,842,830	10,786,301

(2) 損益計算書

(単位：千円)

	前事業年度 (自 2023年 5 月 16 日 至 2024年 5 月 15 日)	当事業年度 (自 2024年 5 月 16 日 至 2025年 2 月 28 日)
売上高	21,360,275	17,388,182
売上原価		
原材料期首棚卸高	209,079	254,053
原材料仕入高	8,326,281	6,831,653
合計	8,535,361	7,085,707
原材料期末棚卸高	254,053	370,126
売上原価合計	8,281,307	6,715,580
売上総利益	13,078,967	10,672,601
販売費及び一般管理費	11,369,959	9,620,299
営業利益	1,709,008	1,052,302
営業外収益		
受取利息	1,003	3,958
協賛金収入	6,210	6,502
仕入割引	4,773	2,874
受取賃貸料	3,473	2,694
受取保険金	1,382	1,210
雇用調整助成金	108	—
その他	11,124	3,102
営業外収益合計	28,076	20,343
営業外費用		
支払利息	421	1,864
支払手数料	—	220
支払補償費	991	68
その他	29	151
営業外費用合計	1,443	2,304
経常利益	1,735,641	1,070,341
特別利益		
固定資産売却益	480	5
新株予約権戻入益	2,831	4,422
特別利益合計	3,312	4,427
特別損失		
固定資産売却損	—	1,402
固定資産除却損	23,549	11,336
減損損失	174,198	199,888
特別損失合計	197,748	212,627
税引前当期純利益	1,541,205	862,141
法人税、住民税及び事業税	548,448	249,674
法人税等調整額	△80,816	42,561
法人税等合計	467,631	292,236
当期純利益	1,073,574	569,905

(3) 株主資本等変動計算書

前事業年度 (自 2023年5月16日 至 2024年5月15日)

(単位: 千円)

	株主資本							
	資本金	資本剰余金			利益剰余金			
		資本準備金	その他資本剰余金	資本剰余金合計	利益準備金	その他利益剰余金		利益剰余金合計
						別途積立金	繰越利益剰余金	
当期首残高	100,000	236,829	232,931	469,761	150	150	8,469,656	8,469,956
当期変動額								
剰余金の配当							△164,382	△164,382
当期純利益							1,073,574	1,073,574
自己株式の取得								
自己株式の処分			8,486	8,486				
資本金から剰余金への振替								
株主資本以外の項目の当期変動額 (純額)								
当期変動額合計	—	—	8,486	8,486	—	—	909,191	909,191
当期末残高	100,000	236,829	241,418	478,248	150	150	9,378,848	9,379,148

	株主資本		新株予約権	純資産合計
	自己株式	株主資本合計		
当期首残高	△697,275	8,342,442	25,331	8,367,773
当期変動額				
剰余金の配当		△164,382		△164,382
当期純利益		1,073,574		1,073,574
自己株式の取得	△134	△134		△134
自己株式の処分	21,400	29,887		29,887
資本金から剰余金への振替		—		—
株主資本以外の項目の当期変動額 (純額)		—	2,745	2,745
当期変動額合計	21,265	938,944	2,745	941,689
当期末残高	△676,010	9,281,386	28,077	9,309,463

当事業年度（自 2024年5月16日 至 2025年2月28日）

(単位：千円)

	株主資本							
	資本金	資本剰余金			利益剰余金			
		資本準備金	その他資本剰余金	資本剰余金合計	利益準備金	その他利益剰余金		利益剰余金合計
						別途積立金	繰越利益剰余金	
当期首残高	100,000	236,829	241,418	478,248	150	150	9,378,848	9,379,148
当期変動額								
剰余金の配当							△164,683	△164,683
当期純利益							569,905	569,905
自己株式の取得								
自己株式の処分			12,706	12,706				
資本金から剰余金への振替								
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）								
当期変動額合計	—	—	12,706	12,706	—	—	405,222	405,222
当期末残高	100,000	236,829	254,124	490,954	150	150	9,784,071	9,784,371

	株主資本		新株予約権	純資産合計
	自己株式	株主資本合計		
当期首残高	△676,010	9,281,386	28,077	9,309,463
当期変動額				
剰余金の配当		△164,683		△164,683
当期純利益		569,905		569,905
自己株式の取得	△1,892,520	△1,892,520		△1,892,520
自己株式の処分	22,426	35,133		35,133
資本金から剰余金への振替		—		—
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）		—	501	501
当期変動額合計	△1,870,093	△1,452,164	501	△1,451,662
当期末残高	△2,546,103	7,829,222	28,578	7,857,800

(4) キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前事業年度 (自 2023年 5 月 16 日 至 2024年 5 月 15 日)	当事業年度 (自 2024年 5 月 16 日 至 2025年 2 月 28 日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前当期純利益	1,541,205	862,141
減価償却費	465,362	435,904
減損損失	174,198	199,888
株式報酬費用	8,071	18,742
新株予約権戻入益	△2,831	△4,422
建設協力金と相殺した地代家賃・賃借料	23,189	18,604
賞与引当金の増減額(△は減少)	—	△28,100
受取利息及び受取配当金	△1,003	△3,958
支払利息	421	1,864
有形固定資産売却損益(△は益)	△480	1,397
固定資産除却損	23,549	11,336
売上債権の増減額(△は増加)	△134,571	295,825
棚卸資産の増減額(△は増加)	△40,928	△116,028
仕入債務の増減額(△は減少)	△17,159	△44,793
未払消費税等の増減額(△は減少)	85,457	△132,695
その他	242,912	△174,634
小計	2,367,393	1,341,071
利息及び配当金の受取額	174	3,140
利息の支払額	△423	△1,880
法人税等の還付額	113,158	—
法人税等の支払額	△105,196	△725,999
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,375,106	616,333
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△407,526	△384,246
定期預金の払戻による収入	407,519	384,240
有形固定資産の取得による支出	△1,225,062	△687,661
有形固定資産の売却による収入	480	5,349
無形固定資産の取得による支出	△289,234	△329,820
投資有価証券の取得による支出	△20,000	—
関係会社株式の取得による支出	△306,702	—
敷金及び保証金の差入による支出	△21,758	△20,267
敷金及び保証金の回収による収入	36,635	432
資産除去債務の履行による支出	△13,787	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,839,435	△1,031,974
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	6,000	282,000
リース債務の返済による支出	—	△891
自己株式の取得による支出	△134	△1,892,520
ストックオプションの行使による収入	27,393	16,664
配当金の支払額	△163,817	△164,859
財務活動によるキャッシュ・フロー	△130,558	△1,759,605
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	405,112	△2,175,246
現金及び現金同等物の期首残高	5,773,239	6,178,351
現金及び現金同等物の期末残高	6,178,351	4,003,105

(5) 財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(持分法損益等)

	前事業年度 (2024年5月15日)	当事業年度 (2025年2月28日)
関連会社に対する投資の金額	306,702千円	306,702千円
持分法を適用した場合の投資の金額	306,702	291,299

	前事業年度 (自 2023年5月16日 至 2024年5月15日)	当事業年度 (自 2024年5月16日 至 2025年2月28日)
持分法を適用した場合の投資損失 (△) の金額	－千円	△21,103千円

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前事業年度 (自 2023年5月16日 至 2024年5月15日)

当社は、寿司事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

当事業年度 (自 2024年5月16日 至 2025年2月28日)

当社は、寿司事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

【関連情報】

前事業年度 (自 2023年5月16日 至 2024年5月15日)

1. 製品及びサービスごとの情報

(単位：千円)

	寿司事業	合計
外部顧客への売上高	21,360,275	21,360,275

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦の外部顧客への売上高が損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

(2) 有形固定資産

本邦に所在している有形固定資産の金額が貸借対照表の有形固定資産の金額の90%を超えるため、記載を省略しております。

3. 主要な顧客ごとの情報

外部顧客への売上高のうち、特定の顧客への売上高であって、損益計算書の売上高の10%以上を占めるものがないため、記載を省略しております。

当事業年度 (自 2024年5月16日 至 2025年2月28日)

1. 製品及びサービスごとの情報

(単位：千円)

	寿司事業	合計
外部顧客への売上高	17,388,182	17,388,182

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦の外部顧客への売上高が損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

(2) 有形固定資産

本邦に所在している有形固定資産の金額が貸借対照表の有形固定資産の金額の90%を超えるため、記載を省略しております。

3. 主要な顧客ごとの情報

外部顧客への売上高のうち、特定の顧客への売上高であって、損益計算書の売上高の10%以上を占めるものがないため、記載を省略しております。

【報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報】

前事業年度（自 2023年5月16日 至 2024年5月15日）

（単位：千円）

	寿司事業	合計
減損損失	174,198	174,198

当事業年度（自 2024年5月16日 至 2025年2月28日）

（単位：千円）

	寿司事業	合計
減損損失	199,888	199,888

(1株当たり情報)

	前事業年度 (自 2023年5月16日 至 2024年5月15日)	当事業年度 (自 2024年5月16日 至 2025年2月28日)
1株当たり純資産額	676.31円	627.01円
1株当たり当期純利益	78.33円	41.90円
潜在株式調整後1株当たり当期純利益	78.04円	41.75円

(注) 1株当たり当期純利益及び潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前事業年度 (自 2023年5月16日 至 2024年5月15日)	当事業年度 (自 2024年5月16日 至 2025年2月28日)
1株当たり当期純利益		
当期純利益(千円)	1,073,574	569,905
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る当期純利益(千円)	1,073,574	569,905
期中平均株式数(千株)	13,704	13,601
潜在株式調整後1株当たり当期純利益		
当期純利益調整額(千円)	—	—
普通株式増加数(千株)	51	48
(うち新株予約権(千株))	51	48
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定に含めなかった潜在株式の概要	株式会社銚子丸 第6回2024年新株予約権 (新株予約権の数1,006個、 普通株式50,300株)	株式会社銚子丸 第6回2024年新株予約権 (新株予約権の数986個、 普通株式49,300株) 株式会社銚子丸 第7回2025年新株予約権 (新株予約権の数1,007個、 普通株式50,350株)

(重要な後発事象)

該当事項はありません。